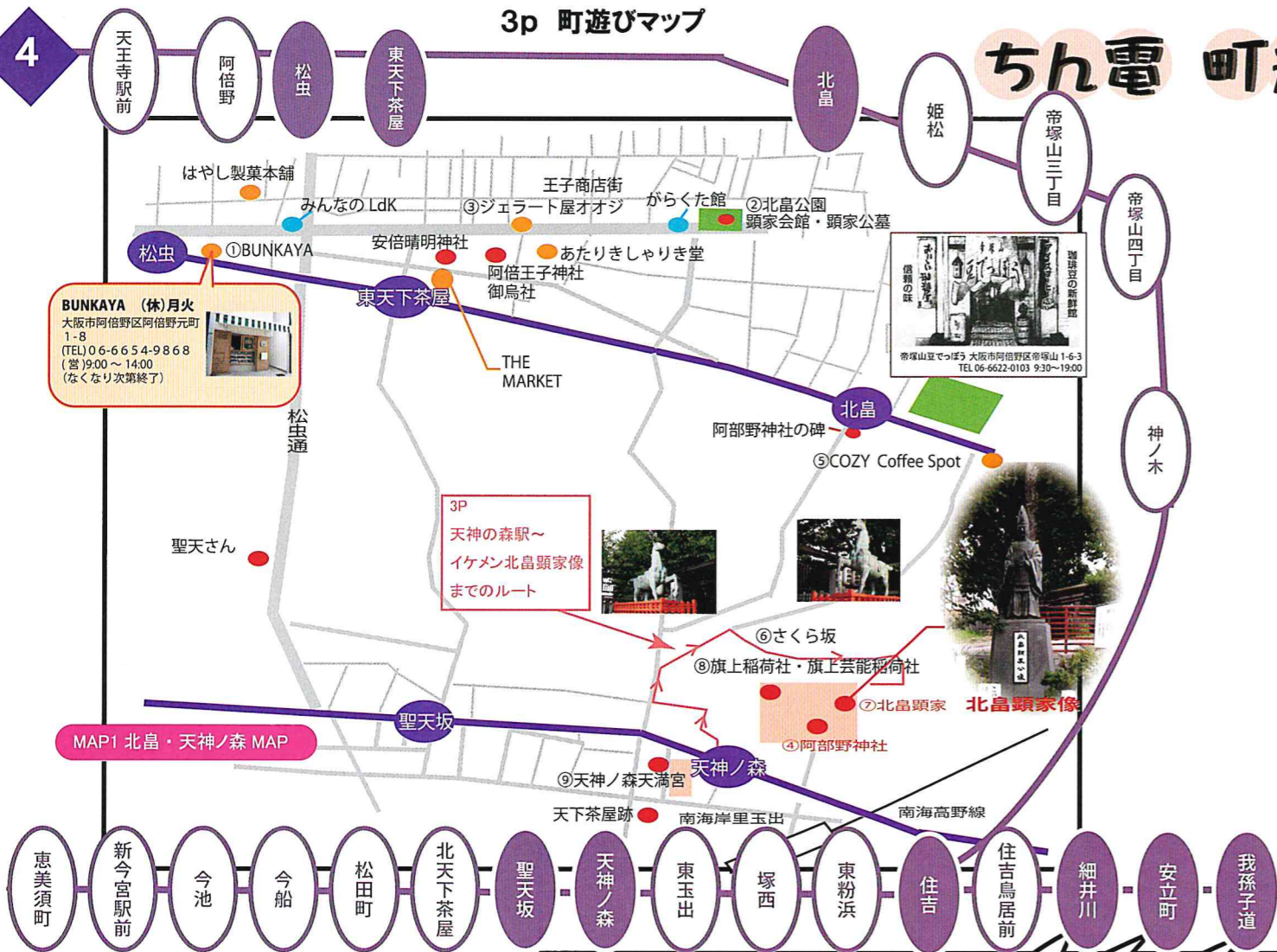


ちん電 町遊び MAP

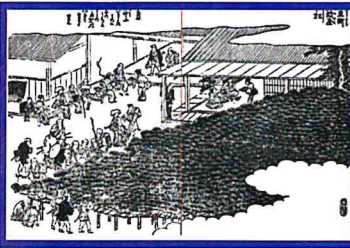
● お寺・神社・史跡
 ● カフェ・パン・飲食店 ● 公園 ● その他店舗・ギャラリー・施設



BUNKAYA (休)月火
 大阪市阿倍野区阿倍野元町1-8
 (TEL)06-6654-9868
 (営)9:00~14:00
 (なくなり次第終了)

**3P 天神の森駅~
 イケメン北島顕家像
 までのルート**

紀州街道の笠松伝説!



紀州街道の参勤交代絵図にも出てくる難波屋の笠松ってどんなもんなんだろう。安立中央商店街の理事吉田さんから細井川近くに「笠松」看板があるよと教えられて行って見た。2代目の笠松が安立小学校で育てられているそうだ。浮世絵にもなっていると安立本通り商店街会長の奥田さんから聞いた。名所図会では(上図)こんな感じだったらいい(´Д`)



粉浜商店街の空き店舗を活用したキモノイベント「和のおさんぽ市」は連日大にぎわい。ちん電沿線とキモノって合うわーと言いつつ着物でチャリ移動のEmikoさん(笑)

MAP2 安立 MAP



すみよっさん和のおさんぽ市 初開催!次は安立で

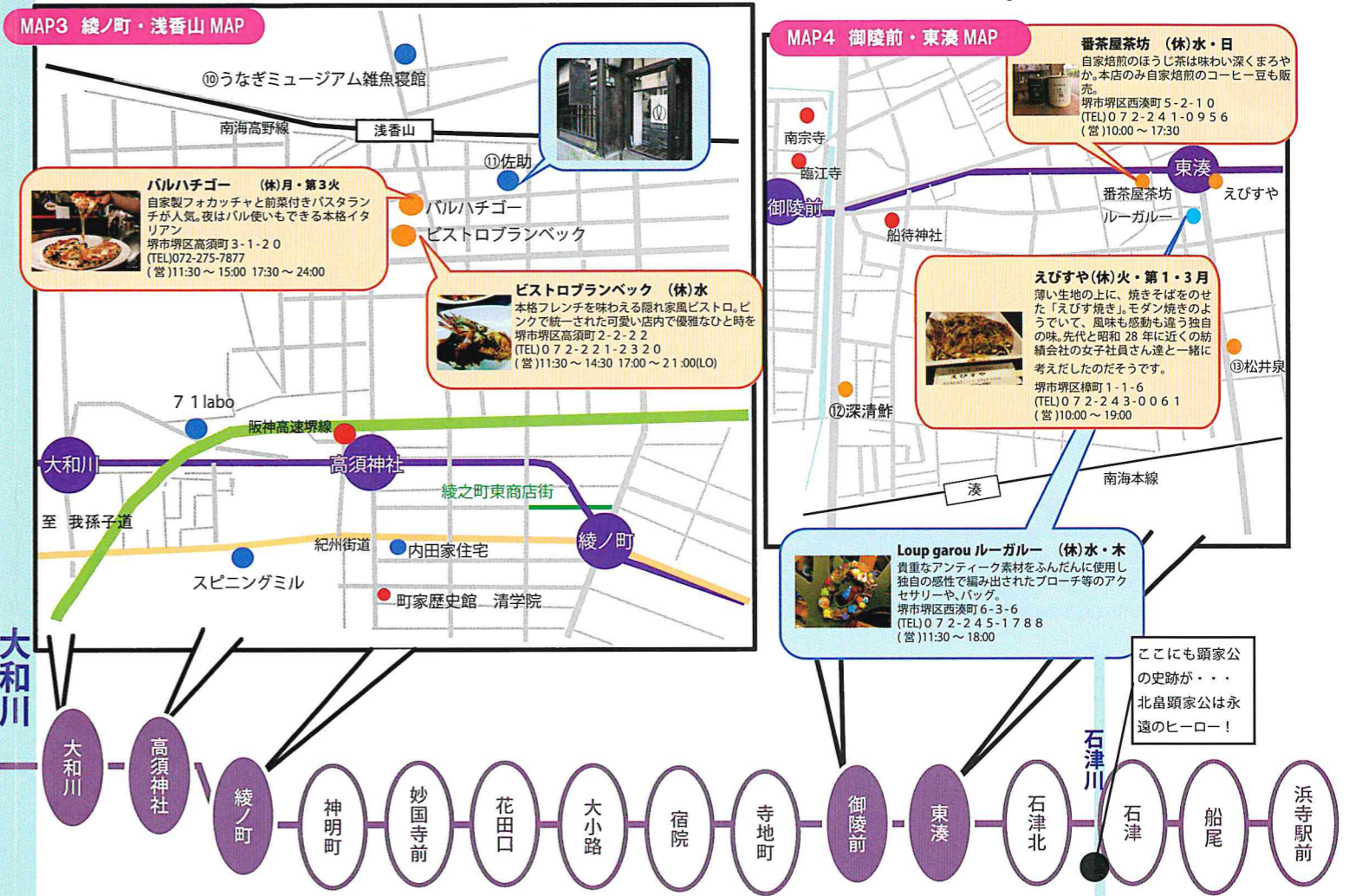
古今堂の伴野修平さんと Emiko さん、荒井はきもの店の荒井泰子さん(旦那様の逸郎さんは三代目挿け職人)、がま口・キモノの中原留美子さん、着物教室をされている川端タカミさんの5名が発起人。粉浜商店街有志、粉浜サポーター、粉浜商進会ほか、協力者も次々と増え、新たな人のつながりが生まれ広がっています。10月27・28日には安立でサランキモノ市開催!



すみよっさんに御参り



着物や雪駄もありまっせ



バルハチゴ (休)月・第3火
 自家製フォカッチャと前菜付きパスタランチが人気。夜はバル使いもできる本格イタリアン。
 堺市堺区高須町3-1-20
 (TEL)072-275-7877
 (営)11:30~15:00 17:30~24:00

ビストロプランベック (休)水
 本格フレンチを味わえる隠れ家風ビストロ。ピンクで統一された可愛い店内で優雅なひと時を。
 堺市堺区高須町2-2-2
 (TEL)072-221-2320
 (営)11:30~14:30 17:00~21:00(LO)

えびすや(休)火・第1・3月
 薄い生地の上に、焼きそばをのせた「えびす焼き」。モダン焼きのようであるが、風味も感動も違う独自の味。先代と昭和28年に近くの紡績会社の女子社員さん達と一緒に考えたのだそうです。
 堺市堺区樟町1-1-6
 (TEL)072-243-0061
 (営)10:00~19:00

Loup garou ルーガルー (休)水・木
 貴重なアンティーク素材をふだんに使用し独自の感性で編み出されたブローチ等のアクセサリーや、バッグ。
 堺市堺区西湊町6-3-6
 (TEL)072-245-1788
 (営)11:30~18:00

ここに顕家公の史跡が... 北島顕家公は永遠のヒーロー!



青空商店街「粉浜街道巻八式」で第2回「粉浜街道落語の日」が開催されました。「五代目桂文三師匠の巻」とあって会場喫茶 فرانセは大入り満員。やむなく入場を断るくらいでした。大阪下町を舞台にした落語、皆お腹がよじれるほど笑いました!笑ったらほんま、元気が出てきますよね!! 次回11月にもお越しになります!!



左から浪曲広沢虎仁さん、粉浜商進会会長寺田惠嗣さん、桂文三師匠



宿院の阿免寺でも桂文三落語開催!

開放感ある青空商店街粉浜街道巻八式 全長182mに歴史とロマンがたっぷり詰まっています。

粉浜街道 巻八式 商進会



五代目桂文三 大阪・粉浜の魅力語る

粉浜~住吉大社にかけての商店街は、昔ながらの人と人のつながりが色濃く残ってますね。五代目桂文枝師匠に27年前(平成3年)に弟子入りしてから、約15年市内に住み玉出の商店街にもよく通いました。昔の公設市場もあって、必需品の着物や雪駄、生活や修業に必要なもの、ほしいものがその場で手に入る。そんな大阪の下町暮らしを味わってきました。長屋暮らしというのは人と人のつながりがあります。ふすまやさん、表貝屋さん、畳屋さんがいましたね。庭で着物の洗い張りをしてたり。落語は下町の長屋暮らしの中で「そんな『あほな〜』とくすくす笑えるような「人」がベースにある。だから大阪下町の普段の暮らしの中での人のつながりが基本やと師匠に教えてもらいました。

ここ粉浜も同じ雰囲気なんです。今も住吉大社までずーっと商店が続いてます。昔ながらのお店もあり、路地があり、まさに私が大阪に来て修業をしていた頃と同じ風情を感じられるんです。(取材 岸田)